

「がんばった自転車大会」

吉田真吾くん

七月七日、第四十一回交通安全
全子供自転車大会が熊谷ドーム
で開かれました。
ぼくがこの自転車大会に出場
しようと決めた理由は、自転車

で速さを競うものだと思ったからです。それはぼくのかん違いでした。
最初は学科の勉強でした。秩父警察の福島さんが教えてくれました。ぼくはドキドキして、良き所を見せないと」と思い真剣にやりました。

何日かたつたある日、体育馆に新山さんという白バイ隊員の人がありました。次は技能走行の練習です。家で見た練習ビデオは、本当にこんなことがで起きるのだろうかというほど難しいものでした。新山さんがやり方を教えてくれました。白バイ隊員すごい！初めは失敗ばかり、二週間め頃から、二十五秒で通過する場、8の字、デコボコ走行もうまくなり、倒すピンも少なくなりました。練習が楽しくなり、やる気もでて、どんどん上達しました。一番難しかった二枚板乗りがなかなか成功できず、「どうすればいいんだ」と悩んでいた時、警察の人のアドバイスでできたのです。その時はとても嬉しかったです。

六月中頃になるとすべての場で成功しましたが、技能走行だけでは大会にでられないのです。学科のテスト、安全走行もありました。毎日五時までがんばりました。

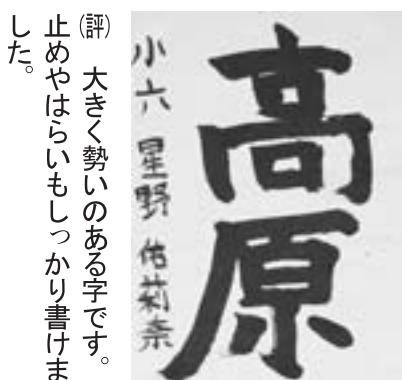
六月の終わりになって、ぼくはミニバスの大会だけがをして

しました。足首のじん帯損傷と言われショックでした。でも、大会一週間前に医者から出場できると言われ、これから一週間全力でがんばるぞと、練習に励みました。

大会本番は、開会式、学科のテスト、安全走行と続きました。ぼくは、国小では一番に出演します。福島さんやみんなが観客席から応援してくれてもドキドキして、ぼくの緊張は止まりません。スタートです。安全走行はしっかりと声を出し、失敗しないでできたので良かつたと思いました。終わつたら友達みんなが拍手で迎えてくれました。

技能走行は午後です。ぼくは、「ぜつたい入賞するぞ」と思い、福島さんの言っていた「強気」でがんばりました。S字は二回、ピンは一本失敗、でも他の成功ほつとしました。祐太君、政輝君、愛未さん達の技能走行もみんなで一生けん命応援しました。

すべて終わり、結果発表です。「もし入賞できなかつたらどうしよう。」と思い、心臓がドキドキしていました。「第六位、皆野町立国神小学校。」「ワアー！大きくな歓声が上がりました。みんな大喜びでした。信じられませんでした。すごく嬉しく、一生の良い思い出になりました。そして個人では黒沢祐太君が七位入賞でした。



星野佑莉奈さん



加藤奏良さん

(評) 大きく勢いのある字です。
止めやはらいもしつかり書けました。

(評) 左右のはらいがバランスよく書けています。

交通安全子供自転車大会と五

月からの練習は、秩父警察の人、役場の人、国神小の先生方、保護者の人のおかげでがんばれました。きびしい、でも楽しく嬉しい体験でした。

(評) 六位入賞おめでとう！きびしきた練習の後の大きな喜びが伝わってきます。また一つ心に残る思い出ができましたね。